

メキシコ ソノラ州のブドウ出荷は開始が遅れた後に回復

The Packer 2023年6月5日

メキシコ(ソノラ州)の生食用ブドウの出荷シーズンは開始が遅かったが、6月に入ってから通常の出荷量に回復している。

生産者が所有する販売会社であるディバインフレーバー社(米国アリゾナ州ノガレス市)は、生産物は現在、春の涼しい天候のために出荷が遅れていたソノラ州の北部及び沿岸地域から来ているとしている。同社の販売担当副社長であるカルロス・ボン氏はニュースリリースで、「ようやくブドウの供給が正常に戻ってきている」と述べている。(以下「」はニュースリリースでの同氏の発言)

6月に入り出荷が安定

リリースによると、6月の初頭にはブドウの出荷量は正常に戻りつつある。緑色の早生ブドウの大部分はすでに安定しており、赤ブドウは数日遅れている。

「ここ数週間、流通段階のものがほとんどなく、売り場に果実を供給するのが困難であったが、ブドウの出荷は急速に安定してきている。緑色ブドウでは早生の品種のほとんどの出荷が通常に戻ってきて良い状態にあり、赤ブドウもすぐにそうなるだろう。」

6月は通常、早生品種の出荷の最盛期である。ボン氏は、昨年この時期と比較して、出荷量は73%少ないと付け加えた。

「ソノラ州産のブドウの出荷開始が遅れ、出荷量が不足していたため、関係者全員に大きなプレッシャーがかかっていたが、状況は好転しており、今月末から7月一杯は大規模な販促活動を実施できるようになるだろう。」

生食用ブドウだけでなく、他の果実についても、気温の低下が現在の品不足の主な原因である。

「今年これまでのブドウのシーズンは難しく、この仕事をしてきた中で最も困難なものであった。自然がもたらした状況は本当に厳しいが、我々にはできる限りの方法でそれに対処している。最初は苦しいスタートであったが、価格については数日のうちに良好な水準に調整されるだろう。それは緑色ブドウから始まり、赤ブドウの在庫が完全に揃うにはまだ数日かかる。」

収量予測の見直し

2023年3月の見通しでは、ソノラ州のブドウ出荷量は2,150万箱以上と推定された。リリースによると、現在は合計約2千万箱程度と予測されている。ソノラ州のブドウの栽培面積の大部分を占めるフレームシードレス品種は収量が少なく、小売用の18ポンド(約8kg)箱を埋めるために、ブドウの房を多く必要としている。

ボン氏は、ソノラ州の出荷量は当初の予測よりも100万箱少なくなるだろうと付け加えた。

「通常は一箱詰めるのに26房くらい必要であるが、今年は収量が少ないためブドウの粒が小さく、生産者は38房くらいを必要としている。」

「最も困難なシーズンの1つであったが、トンネルの出口に光が見える。出荷量が増えて来ており、さらに、弊社は約12日後には特産品種の出荷を開始する。」

「出荷の遅れを払拭する前向きな点があるとすれば、それは果実の品質と状態が信じられないほどよいことである。売り場の棚が再び埋まるように取り組んでおり、重要なことは、取引先の小売業者に優れた品質のブドウを届けることである。良い果実は常によく売れる。」